

日本骨髄バンクの現状（2025年3月末現在）

※数値は速報値のため訂正する場合があります。

登録者数	2025年2月	2025年3月	現在数	累計数
ドナー	2,187	2,163	562,452	994,918
患者	166	222	1,723	70,949

<年代別ドナー登録者現在数>

約43%	10代	4,280	*うち3月新規登録者は200人
	20代	97,812	
	30代	137,532	
	40代	210,138	
	50代	112,690	

<3月区分別ドナー登録者数>

献血ルーム	588人
献血併行型集団登録会	1,538人
集団登録会	0人
その他	37人

採取数	2025年2月	2025年3月	累計数
骨髄	60	58	27,041
末梢血幹細胞	30	36	2,460
合計	90	94	29,501

■当法人を介して2回提供された方（累計）2,301人

■DLI[ドナーリンパ球輸注療法]（累計）1,109件

2023年8月号から海外採取は含まず、国内の採取のみを掲載しています。

「チャンス」2025年度版の発行について

登録のしおり「チャンス」は例年4月に改訂されてきましたが、スワブ登録の導入等との兼ね合いで次回改訂を【2025年10月】に予定しています。

2024年4月発行のチャンスは、2025年9月末まで利用可能です。

追加の配送をご希望の方は広報資料請求フォーム（下記URL）からお申し込みください。

<https://www.jmdp.or.jp/volunteer/goods/>

登録のしおり「チャンス」電子版▶<https://www.jmdp.or.jp/reg/guidebook/01.html>



2024年度の採取1,026件、新規登録者35,823件

■2024年度採取総数 1,026（前年比-66）

[国内ドナー⇒国内患者] 1,022

[国内ドナー⇒海外患者] 4

<内訳>

●骨髄採取 683（前年比-90）

[国内ドナー⇒国内患者] 681

[国内ドナー⇒海外患者] 2

●末梢血幹細胞採取 343（前年比+24）

[国内ドナー⇒国内患者] 341

[国内ドナー⇒海外患者] 2

■2024年度新規ドナー登録数

35,823（前年比-1,289）

2023年度の水準を下回りはしましたが、ACジャパン支援キャンペーンの放映がない期間でも2022年度（34,507）を超える結果となりました。力強いドナー登録推進にご尽力くださいました関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年度も引き続き、若年層を軸とした新規ドナー登録の推進に注力して参ります。

ミュージカル「明日への扉」上演の滋慶学園COMグループ各校よりご寄付をいただきました

骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」および「明日への扉～Hospital Of Miracle～」を上演した滋慶学園COMグループ各校の卒業式が3月4日～18日に大阪、仙台、福岡、名古屋、福岡、東京、札幌の順で行われ、式典の中でご寄付を授与いただきました。

「明日への扉」は、骨髄移植や骨髄バンク事業の現実を知った学生たちが「私たちにできることは何か」と考えて実現したミュージカルです。同グループの大阪スクールオブミュージック&ダンス専門学校による1994年の初演を皮切りに、「明日への扉～Hospital Of Miracle～」と共に、毎年滋慶学園COMグループの各校の学生さんたちによって上演されています。公演を通じた骨髄バンク事業の普及啓発と、会場で集めてくださったご寄付によって、長年にわたり骨髄バンクを支援してくださっています。卒業式では、ミュージカルを上演した各校の卒業生代表から骨髄バンクに目録が手渡され、当法人からは各校の卒業生代表に感謝状をお渡ししました。滋慶学園COMグループ各校の皆様改めて感謝申し上げますとともに、ご卒業の皆様心よりお祝いを申し上げます。



式典でご寄付をいただきました（写真は札幌）

たんぽぽ薬局株式会社さまよりご寄付の贈呈



東海・北陸・関西・四国の各地で調剤薬局を展開し、骨髄バンクを長年ご支援くださっているたんぽぽ薬局株式会社さまより、「処方箋受付1回につき、骨髄バンクに1円を寄付する」支援活動によるご寄付をいただきました。

3月28日（金）寄付金贈呈式が親会社の株式会社トーカイの本社会長室（岐阜市）で行われ、株式会社トーカイ代表取締役会長でたんぽぽ薬局株式会社取締役会長の小野木孝二様のご同席のもと、たんぽぽ薬局株式会社代表取締役社長の松野英子様より、日本骨髄バンク岡本真一郎理事長へ目録が授与されました。

ご厚意に御礼を申し上げるとともに、応援を胸に今年度も患者さんの救命に邁進して参ります。

公益社団法人 全日本フルコンタクト空手道連盟さまよりご寄付の贈呈

3月9日（日）、武蔵野の森総合スポーツプラザにて「骨髄バンクチャリティー第4回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会」が開催されました。本大会では、全国から集まった多くの青少年選手が熱戦を繰り広げるとともに、会場内でドナー登録会も実施され、多くの方に骨髄バンクへの関心を持っていただく機会となりました。

また、公益社団法人全日本フルコンタクト空手道連盟様よりご寄付をいただきました。これに対し、当法人より緑健児理事長に感謝状を贈呈し、深く御礼を申し上げます。

皆様の温かいご支援が、多くの方の命をつなぐ大きな力となります。今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



音楽ライブイベント「THE BANK 2025」で骨髄バンクドナー登録&普及啓発を実施

3月22日(土)に大阪・GORILLA HALL OSAKAで、献血骨髄ドナー登録啓発LIVEイベント「THE BANK 2025」が開催されました。同イベントは、骨髄バンクを通じて移植を受けたプロスノーボーダー・荒井DAZE善正さんが代表を務める一般社団法人SNOWBANKが毎年主催している音楽フェス型イベントで、GORILLA HALL OSAKAでは2023年から始まり、今年で3回目の開催となりました。

会場では献血併行型ドナー登録会に加え、THE BANKと骨髄バンク「#つなげプロジェクトオレンジ」がコラボした様々な普及啓発活動を実施しました。

- ・タトゥーシールの配布
- ・アンケートボード実施
- ・コラボ特製ドナーカード配布

THE BANKに出演したアーティストのサンボマスター、locofrank、TOTALFAT、DJダイノジさん、DAZEBANDからは、#オレンジ30000チャレンジを応援するチャリティグッズもご提供いただきました。

本イベントを通じ多くの来場者・ファンの方々を中心に骨髄バンクについて呼びかける機会となったほか、献血実施74名、ドナー登録33名と、大変多くの方にご協力いただきました。



Photo by Yoshifumi Shimizu

市民公開講座開催－学生が鈴木おさむさんと骨髄バンク事業について議論

第47回日本造血・免疫細胞療法学会総会が2月27日(木)～3月1日(土)の3日間、グランキューブ大阪(大阪国際会議場)で開催されました。当法人は、展示ブース出展のほか、市民公開講座の開催に協力しました。

市民公開講座は、第2部では、島根県立大学「あかえんぴつくん」と広島国際大学「しずく」が中心となって普及啓発・ドナー登録推進活動が命をつなぎ続けている状況を発表したほか、第3部では慶応義塾大学骨髄バンク啓発学生任意団体「つなぐ」、骨髄バンクユースアンバサダー、その他全国の大学から学生が加わって、スワブ登録導入を目の前に、「骨髄バンク事業を広げていくためにどうしたらよいか」について、去年大切な仲間を血液のがんでなくした鈴木おさむさんとともに、真剣に議論しました。

次回、第48回学会総会は、2026年2月27日(金)～3月1日(日)東京国際フォーラムで開催されます。



雑誌「暮らしの手帖」で骨髄バンク事業が取り上げられました

3月25日(火)発売の生活総合誌「暮らしの手帖」第5世紀35号で、骨髄バンクに関する特集記事が8ページにわたって掲載されました。同誌は、2016年NHK連続テレビ小説『とと姉ちゃん』のモチーフにもなった創業者大橋鎮子氏と初代編集長の花森安治氏が創刊した雑誌で、今年で創刊77年目を迎えます。

記事は「骨髄バンクと、あるお母さんのはなし」と題し、日本における公的骨髄バンクの設立に奔走した一人で当法人の理事を務める橋本明子氏のインタビューに続く形で、骨髄バンク基礎知識が分かるQ&A、骨髄バンクを介して末梢血幹細胞提供をした秋葉由紀さんと骨髄提供をした中南臣吾さんのインタビューが掲載されています。

同誌は各地の書店・オンライン書店のほか、暮らしの手帖社オンラインストアで販売されています。https://www.kurashi-no-techo.co.jp/honshi/c5_035.html



公式Xフォロワー3万を目指す「#オレンジ30000チャレンジ」延長決定

日本骨髄バンクは、認知向上のプロジェクト「#つなげプロジェクトオレンジ」の一環として開始した、公式Xアカウントのフォロワー数3万人を目指す取り組み「#オレンジ30000チャレンジ」の延長を決定しました。

フォロー&リポストキャンペーンの「#Xチャリティチャレンジ」やラジオ特別番組の放送や骨髄バンクスタッフ出演で100局展開を目指す「#ラジオ100局チャレンジ」を通じ、これまで様々な方からご協力をいただき、2月28日時点で11,736から3月31日時点で15,511にフォロワー数が増加しました。

しかし目標に至らなかったこと、現在特に若い世代で骨髄バンクの認知度が下がっているところ、患者さんの救命のため1人でも多くの方に骨髄バンクの情報を届けたい、という理由から、取り組みの延長を決定しました。

MONTHLY JMDPをご覧の皆様、ぜひ日本骨髄バンク公式Xアカウントのフォローをお願いいたします。

引き続きの応援、ご協力をお願いします！

日本骨髄バンク公式X：<https://x.com/JMDPI789>

特設サイト：<https://www.jmdp.or.jp/30000-challenge/>



非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の新規認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。これにより骨髄採取認定施設数は199施設、末梢血幹細胞採取認定施設数は144施設となりました。

ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.jmdp.or.jp/donation/interview-facilities/>

○岐阜県立多治見病院

ドナー助成制度導入、1071自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記の自治体で導入され、全国で1071自治体となりました（2025年3月末現在、当法人把握分）。

○高知県 四万十町

○福岡県 大任町、上毛町、築上町、筑前町、東峰村、中間市、広川町、みやこ町

○鹿児島県 薩摩川内市

助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

■導入リスト https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/assistance/donor_municipality.pdf

◇ドナー助成制度問い合わせ先

日本骨髄バンク広報渉外部 ドナー助成制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）

ドナー休暇制度導入、879企業・団体に

就業ドナーの方にとって提供しやすい環境を整備するため、「ドナー休暇制度」の導入を全国の企業や団体へ呼びかけております。

現在879の企業や団体、大学等が導入しています（2025年3月末現在、当法人把握分）。

■導入リスト https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/donorleave_02.pdf

既に制度を導入・運用していて上記リストに未掲載の場合は、下記の問い合わせ先までご一報ください。

申請に必要な「導入連絡書」（エクセルファイル）は[こちら](#)からダウンロードしてご利用ください。

◇ドナー休暇制度・ドナー公欠制度問い合わせ先

日本骨髄バンク広報渉外部 ドナー休暇・公欠制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）